

平成 20 年度  
奈良県防災功労者知事表彰  
活動事例集



奈良県安全・安心まちづくり推進課



## 目 次

### < 団体表彰 >

纏向自主防災会【桜井市】	1
富士見ヶ丘自治会【宇陀市】	3
秋留地区自主防災会【三郷町】	8
石見自治会自主防災会【三宅町】	14

### < 個人表彰 >

中村正治氏【奈良市】	18
------------	----



# 纏向自主防災会（桜井市）

## 1、 設立の経緯

纏向地区は、桜井市の北部に位置し、北側は天理市と接する農村地帯である。地区内には邪馬台国の畿内説の最有力候補地とされている纏向遺跡があり、卑弥呼の墓ではないかと言われる箸墓古墳に近接し、注目されている。

しかし、高齢者世帯は年々増加している。

自主防災会の設立は、阪神・淡路大震災発生の前年、平成6年1月30日桜井市消防署の設置呼びかけもあって、桜井市で最初の自主防災会として発足した。

## 2、 組織の概要

国道169号線を挟む、辻・巻野内・太田・草川の4ヶ大字931世帯で構成している。

この4ヶ大字は、各大字毎近接しており、小学校区も同じで結びつきも深い。会長は、設立当初4ヶ大字、4年毎に輪番で担当し、以降2年毎、最近は1年毎で交代しているものの、副会長・幹事を各大字より選任し、更に、大字との連携を密にする為、各区長が相談役として参画している。

## 3、 活動状況

毎年4月には定期総会を開催し、その年度の事業計画や予算を協議し、6月には防災講習会を、8月には小学校で開催される地域の集い（盆踊り）にあわせて、起震車体験や救命・救急講習・防災関連パネルの展示等啓発活動を毎年途切れなく行っている。

更に、毎月各大字輪番で軽可搬式ポンプの点検も行っている。

又、初期消火の重要性に鑑み、消火器の点検・入れ替えを積極的に進めると共に、地域独自で災害時1次避難場所を設定し、看板を取り付けた。

特に、災害発生時安否確認が地域にとって大変重要なことから、全世帯を対象に家族構成調査を実施し、毎年再確認を行っている。

## 4、 課題と今後の取り組み

まだまだ、全般的に災害発生に対する危機意識が低いと思われる。

少なくとも、災害発生時に備え、各家庭でラジオや食料等の必需品を常に準備しておくことを呼びかけいきたい。

又、災害発生時、救命・救急の実践的リーダーとなる看護婦や消防の経験者の等隠れた人材の発掘にも取り組んでいきたい。



消火器の点検・入れ替え



地域独自で災害時1次避難場所の設定と看板の取り付け

# 富士見ヶ丘自治会（宇陀市）

## 1. 設立の経緯

平成7年に発生した阪神淡路大震災や平成10年に奈良県を襲った台風7号による被害を契機として、自治会内で防災・防犯に対して取り組む機運が盛り上がり、平成10年11月に当時の自治会長を初めとした自治会役員の方々が中心となって、自主防災組織を設立しました。少子高齢化、核家族化が進む中で、各自の防災に対する自助の力と住民相互の共助の力により、地震や風水害などの災害発生時に各自が協力して被害を最小限に抑えることを目的としています。

## 2. 活動内容

富士見ヶ丘自治会49世帯により活動を行っています。

主な活動としては、各自の防災意識の高揚と災害時に冷静な判断と行動をとれる様に心の備えをすることを目的として、宇陀広域消防組合消防本部のご指導をいただきながら防災訓練を年1回（11月）実施しています。

なお、主な訓練内容については、以下のとおりです。

### ①避難誘導と搬送訓練

各班毎に集まり、地区の避難所であるコミュニティセンターへ集合する。  
簡易担架を作製し、けが人を想定した人形を搬送する。

### ②救急応急措置訓練

応急措置の仕方について消防本部より指導を受ける。

### ③炊き出し訓練

炊事班により炊き出しを行う。

### ④消火器取り扱い訓練

消防本部及び消防団より消火器の取り扱いの指導を受ける。

### ⑤通報訓練

消防本部より119番通報の指導を受ける。

発足して10年となりましたが、自治会会員の防災に対する意識は年々高まってきています。今後も、興味を持って訓練に参加していただけるよう訓練内容に工夫を凝らしながら、継続した活動を実施していきたいと思っております。



避難訓練



人命救助訓練



救急応急措置訓練



消火器取扱訓練



消火器取り扱い訓練



バケツリレー

平成20年10月26日

富士見ヶ丘自治会員のみなさんへ

富士見ヶ丘自治会

会 長 田 窪 重 昭

公民館長 花 田 清 文

防災部長 石 本 喜代次

### 防災訓練の開催について（ご案内）

秋冷の候 自治会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当自治会に対しましてご支援・ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。さて、今般、私たちの生活の中で起こりうるいろいろな災害の被害を最小限に食い止めるため、協調した訓練を実施し、防災意識の高揚と訓練を通じて冷静な判断と行動がとれるように心の備えをすることになりました。

つきましては、標記訓練を下記により開催いたしますので、お誘い合わせの上、多数ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

#### 記

- 1 開催日 平成20年11月9日（日） 午前8時30分～
- 2 開催場所 富士見ヶ丘コミュニティセンター
- 3 実施内容 ①避難誘導と人命救助（担架製作と搬送訓練の実施）  
②消防職員による担架製作と搬送訓練の反省点と反復  
③炊き出し訓練

※搬送訓練については、5班の通路に人形を5体設置しておりますので、各班で集合し

5班から富士見ヶ丘コミュニティセンターへ避難してください。

※当日は、非常持出袋（貴重品・薬・必需品など）を持参してください。

※雨天の場合は、コミュニティセンターにて各講習を行います。

## ● 秋留地区自主防災会（生駒郡三郷町）

1. 結成の経緯：阪神・淡路大震災の教訓を基に、アンケートや自主防災組織案等を作成し6ヶ月間の準備をとって平成18年9月秋留地区自主防災会の立ち上げを提案しました。55世帯全員の賛同を得て平成18年11月1日付けで結成・活動しています。
2. 目的：秋留地区自主防災会は災害対策基本法及び三郷町地域防災計画の規定により自主的な防災活動を行い、自助・互助・協働の精神のもと地震等の災害による被害の防止及びその軽減を図ることを目的としています。
3. 会員：55世帯（防災士認証取得者3名含む）
4. 組織：会長2名、副会長2名、防災リーダー3名、班長6名、会計1名、監事1名、民生委員1名
5. 普及中の家具等の転倒・飛来・落下防止対策



### 6. 環境・防災倉庫と寄贈中の常備機材



### 7. 平成20年度の主な活動内容

- |                            |                          |      |
|----------------------------|--------------------------|------|
| 1). 防災講演会の講演記録・・・          | 自主防災活動ニュース（20-05号）       | P2/6 |
| 2). 救命講習会の講習記録・・・          | 自主防災活動ニュース（20-06号）       | P3/6 |
| 3). 大阪支部との合同研修・・・          | 自主防災活動ニュース（20-07号）       | P4/6 |
| 4). 防災リーダーアクションプラン         | 平成20年度 秋留地区自主防災活動 計画・実績表 | P5/6 |
| 5). 自主防災活動における悩みとその解決法について |                          | P6/6 |
| 6). 三つの悩みと「重点ポイント」         |                          |      |

宛先：秋上・下自治会員 各位  
 (写)：日本防災士会 奈良県支部

平成 20 年 9 月 15 日  
 秋留地区自主防災会  
 防災リーダ 大和 武史

## 自主防災活動ニュース(20-05 号)

### 「 防災講演会の講演記録 」

主 催：三郷町  
 テ ー マ：みんなで取り組む自主防災  
 開催日時：平成 20 年 9 月 7 日(日) 14:00～16:00  
 場 所：三郷町立図書館 視聴覚室  
 参 加 者：152 名



講演①：奈良県総務部知事公室  
 安全・安心まちづくり推進課長  
 今谷 政昭氏

テーマ：「みんなで取り組む自主防災・防犯活動」  
 資 料 ・みんなで取り組む震災対策  
 ・西大和 6 自治会連絡会(上牧町)  
 ・防犯ハンドブック



講演②：秋留地区自主防災会  
 防災リーダ 大和 武史

テーマ：「秋留地区自主防災会の結成及び活動  
 内容について」  
 資 料 ・みんなで取り組む自主防災



熱心に講演を傾聴して下さった 152 名(自治会長  
 自主防災会長,消防団関係,一般住民,役場職員)  
 の皆さん

講演会の実施結果・問題点等は防災リーダ アクションプランで評価・分析を行い改善・反映します。

宛先：秋上・下自治会員 各位  
 (写)：日本防災士会 奈良県支部

平成 20 年 10 月 10 日  
 秋留地区自主防災会  
 防災リーダ 大和 武史

### 自主防災活動ニュース(20-06号)

9月21日(日)「救命講習会」を開催しましたところ、多数参加のもと和気藹々と受講することができました。丁度その二日後、応急手当によって救助された再現がテレビ放映されていました。それは「心肺蘇生法や救急ヘリによって溺れた子供の救助」や「ハイムリック法によって喉に詰まったステーキを摘出し救助された男性」等です。早期の救命手当がいかに重要かを改めて痛感したところです。

#### 総勢31名の受講風景(和気藹々の中にも真剣に取り組む受講者)



もしもし  
大丈夫ですか?



「もしもし亀よ」の  
リズムで心臓マッサージ



心肺蘇生法とAED  
を使って懸命に手当



ショックボタンを押します  
みんな離れて

#### 受講者と講師の浦川さん、中村さん、安東さん



この写真を御希望の方は大和まで連絡下さい。  
携帯：

講習会の実施結果・問題点等は防災リーダアクションプランで評価・分析を行い次年度以降に反映します。

宛先：秋上・下自治会員 各位

平成20年10月5日  
秋留地区自主防災会  
防災リーダー 大和 武史**自主防災活動ニュース(20-07号)****日本防災士会 大阪支部との合同研修 参加者：35名**

日時：平成20年10月5日（日）13：00～16：30

場所：大阪市消防学校（東大阪市三島）コスモスクエア行き長田駅下車

研修風景



天ぷら鍋に蓋をして消火



天ぷら鍋に水をかけた場合の熱湯飛沫



A B C 粉末消火器での消火訓練



可搬式ポンプでの消火訓練



煙中での避難訓練

**「研修後の新たな教訓」**

- 燃え盛る天ぷら油に水をかけた場合、3メートル四方の火柱と熱湯飛沫は非常に危険であった。天ぷら火災の場合は絶対に水をかけないで下さい。蓋若しくは濡れた布等で空気を遮断して下さい。
- 煙中避難では、「襟口で鼻と口を覆う方法」は非常に有効的であったので覚えておいて下さい。
- 暗中避難では、右手は壁、左手は前方を探りながらすり足でゆっくり前進する。先頭誘導者は「右へ曲がります」と声で合図をしながら後続者を誘導する。後続者は右手は壁左手は前者の肩等を持ち前進する。

---

“安全は結果であり 常にあるものは危険ばかりである”

平成21年3月31日	平成20年3月31日
実績	計画

## 平成20年度 秋留地区自主防災活動 **計画** 実績表

”安全は結果であり 常にあるのは危険ばかり”

重点活動項目	推進内容(P)	月 日		評 価		実施状況・問題点(D・C)	問題点に対する今後の対策(A)
		予定	実施	目標	達成度		
1. 防災リーダーのスキルアップ	1) 三郷町総務課主催の講習会等へ積極的に参加する	通期	9/7	100%	継続中	・三郷町主催「防災講演会」講演 参加者：152名(視聴覚室) (質疑・応答時間不足と県との重複内容有り)	・余談は避け、県とは直前に再確認する
	2) 奈良県防災統括室主催の防災カレッジ等へ積極的に参加する	通期	8/21 12/13	100%	継続中	・奈良県自主防犯・防災の講演会 (下市町農村環境改善センター) ・総務省消防庁/奈良県主催の自主防災組織の充実強化に向けた出前講座(王寺町やわらぎ会館)	
	3) 日本防災士会奈良県支部の活動を推進する	通期	6/29 8/9 8/24 10/5 10/5 11/1 11/11	100%	継続中	・役員会開催(年間計画と連絡網等) (地域活動も取り上げた具体的なプランの計画が必要) ・防災研修：救助技術の習得(防災センター) ・役員会開催(宮城県防災指導士の件) ・大阪支部との合同研修(大阪市消防学校) ・役員会開催(支部長会議・防災指導員の件) ・奈良県支部へ地区活動報告書提出 ・ <b>応急手当普及員認定資格を取得(大和・西川)</b> ・役員会開催(日本防災士支部長会議の件)	・期初に年間活動計画を立案・作成する
2. 地区住民の防災意識の向上	1) 自主防災活動ニュース(20-04号)を発行する	H20/9	8/5 11/9	55会員	継続中	・「救命講習会の案内」(20-04号)発行 ・「防災講演会」(20-05号)発行	・11/9のアンケートにより秋留地区のタウンウォッチングを計画・指導する
	2) 自主防災活動ニュース(20-05号)を発行する	H20/11	11/9 11/9	55会員	継続中	・「救命講習会」(20-06号)発行 ・「大阪支部と合同研修」(20-07号)発行	
3. 自主防災活動の実施・訓練	1) 普通救命講習を実施する ・心肺蘇生法 ・AED(自動体外式除細器) 電気ショック	H20/9	9/21 11/18	55会員	33名	・秋留32名+茶垣内1名特別受講 ・受講後のアンケートを実施 (若年層の受講者不足とアンケート回収不足) ・機材寄贈：岡島吉寛氏：ジャッキ1点 広岡氏：ノコギリ3点、ハール2点	・アンケートは当日回収する ・次回の普通救命講習は若年層を対象にする ・ジャッキの寄贈を継続実施する
4. 防災組織の拡大	1) 三郷町自主防災組織率(世帯組織率：54%)の向上を図る	通期	5/10 8/3	60%	継続中	・勢野自治連合12自治会長に組織化促進の講演 茶垣内、平隆寺組織化結成 ・明治団地(11名)防災講演 具体的活動内容と継続実施ポイントを講演	・勢野地区組織率前年比の10%向上する
	2) 日本防災士会奈良県支部を結成設立する (全国36支部・設立・活動中)	H20/4	4/27	100%	100%	・H19.10.5会員の情報収集 ・H19.11.20呼びかけ設立・総会開催 ・4/27「奈良県支部」の設立・発足式	・支部への入会者を募る

## ◆ 自主防災活動における悩みとその解決法について

約2年間の活動の中で、組織化に挑戦中の方や既に活動中の方から再々活動を通しての悩みやマンネリ化に対する相談を受けることがあります。組織化して行動を共に推進するためには色々な弊害はつきものです。そんな時私は次のような手法で物事をとらえ分類・分析・評価するように薦めています。

## 1). 4Mで物事をとらえる。

- |               |       |                          |
|---------------|-------|--------------------------|
| ①. Man        | 人的要因  | ヒューマンエラー、人間の動き・動作、保護・避難等 |
| ②. Machine    | 設備的要因 | ルート、通路、防護設備、機械・機材設備等     |
| ③. Media      | 作業的要因 | マニュアル、手順、作業姿勢・環境、物の状態等   |
| ④. Management | 管理的要因 | ルール・規定、教育・訓練、管理方法、表示・標識等 |

## 2). 物事の要因は「直接的原因」と「間接的原因」に分類し、優先順位の高いものから対策する。

## 3). 目的(なにを)・目標(いつまでに)を(5W1H)で決め継続的に改善を図りサイクル管理する。

- |             |       |          |     |        |       |
|-------------|-------|----------|-----|--------|-------|
| ①. P Plan   | 計画    | ①. When  | いつ  | ⑤. Why | なぜ    |
| ②. D Do     | 実施    | ②. Where | どこで | ⑥. How | どのように |
| ③. C Check  | 分析・評価 | ③. Who   | 誰が  |        |       |
| ④. A Action | 改善・行動 | ④. What  | 何を  |        |       |

## 4). 一人KYK(危険予知活動)を行う。

- |         |                                  |
|---------|----------------------------------|
| ①. K 危険 | どこにどんな危険がひそんでいますか？               |
| ②. Y 予知 | そのままにしておくとのようになりますか？あなたならどうしかすか？ |
| ③. K 活動 | 私ならこのようにします。私達はこのようにします。         |

## ◆ 三つの悩みと「重点ポイント」

## 1). 組織化するのにどうしたら良いのか悩んでいます。

組織化するための重点ポイントは「意識の顕在化を図ると共に常に目的を訴える」

- ①. 地域住民の意見や意識の顕在化を図る。(アンケートでなまの意識を調査する。)
- ②. 地域住民に「防災意識の向上」を図ることの目的を訴える。
- ③. そのためには常に「教訓」を訴え続ける。
  - ・ 救助者の98%は自力、家族、隣人、通行人であった。
  - ・ 救助された大半の人は一日目であった。
  - ・ 救助隊による救助は僅か2%であった。
  - ・ 救助隊による救助は被災後3～4日後にしかこれなかった。
  - ・ コミュニケーションのしっかりしている地域ほど人命が助けられた。

## 2). なにを活動していけばいいのか悩んでいます。

活動内容の重点ポイントは「最新版情報を入手する」

- ①. 常に情報収集を行い、内容によっては活動計画に取り上げる。ニュース等で地域住民に発行して情報の共有化を図る。
  - ・ 県・町発行の広報、各団体・機関の講演会や訓練等へ積極的に参加する。
  - ・ ホームページ等から関連情報を入手する。  
(市町村防災計画書、日本建築防災協会、所轄消防本部、奈良地方気象台等)
  - ・ 奈良県支部へ入会する。

## 3). 毎年継続的に活動(マンネリ化の防止)するにはどうしたらいいのか困っています。

## ①. 活動の継続実施の重点ポイントは「サイクル管理する」

- ・ 定期的(3～4回/年)に防災活動ニュース等を発行し、情報の共有化を図る。
- ・ 定期的(9月)に防災に関する訓練・講習会等を実施し、必ず実施後のアンケートを募る。
- ・ 期初に「自主防災活動計画・実績表」等を計画し、PDCA展開でサイクル管理する。。
- ・ 定常・否定常的な推進内容に分類し数値の達成度と内容の分析・評価を行う。

”安全は結果であり 常にあるのは危険ばかりである”

# 石見自治会自主防災会（三宅町）

## (1) 結成の経緯

阪神淡路大震災を教訓にわが自治会では、戸数が多い中、高齢者も多数占め、道路も昔ながらの狭い（消防車が入りにくい）地域であり「自分の町は自分で守ろう」と思い、平成17年1月に自主防災会を立ち上げました。

## (2) 目的

石見自治会自主防災会は「地震・台風・火災等」が発生した場合、地域住民が協力しあい、的確に行動して災害を最小限に抑える事を目的とする。

## (3) 住宅・住民の構図

世帯数 799 世帯. 人口 2078 名（男 1018 名、女 1060 名）

## (4) 防災委員構成

総代 ・ 防災会会長 ・ 防災委員

## (5) 消火栓 消火ホース格納庫等の設置

消火栓 11ヶ所

格納庫 26ヶ所自治会内全域機能する。

## (6) 防災倉庫、機器の設置

必要最低限の機器

発電機・エンジンカッター・チェーンソー

工具セット・ハンマー・バール・ジャッキ

担架・救急箱・リヤカー・台車・その他



**(7) 防災活動**

各ブロックで消火栓、防災機器の実技体験、年1回磯城消防署の指導協力のもと消火、人命救助、心肺蘇生法、応急手当、防災機器の実技訓練時は住民の参加が多く皆で楽しみながら積極的に取り組み大変成果があった。



**(8) 今後の活動計画**

防災に対する地域住民の知識の向上と参加の呼びかけ、年1回総合訓練、石見公民館にて講習会講演会の実施。

**(9) 今後の課題**

女性消火隊の設置、災害発生時の医師、看護師の確保。

平成 19 年 7 月 8 日

石見自治会 各位

(南 2 丁目・中 2 丁目・巽垣内)

石見総代 池本久隆

消火機器設備 (ホース格納箱)

消火訓練実施について雨天の場合日時変更のお知らせ

平素は、当自治会運営にご協力頂きありがとうございます。

上記の件につき、先日の回覧通り磯城消防署の指導により実施しますが、雨天の場合は消防署の都合により、7 月 28 日 (土) に順延出来なくなりましたの

でお知らせします。**雨天の場合は中止し、改めて連絡  
します。**

記

実施日 … 平成 19 年 7 月 22 日 (日)

雨天の場合は改めて連絡します。

場所と時間 … 中町 2 丁目つるやクリーニング店前 午前 10 時より

平成 20 年 1 月 25 日

大字石見自治会 各位

大字石見総代

池本 久隆

### 救命訓練・防火訓練・について

寒さ厳しい折から、皆様方にはご清栄の事とお慶び申し上げます。

平素は、当自治会運営にご協力頂き厚く御礼申し上げます。

ご多用中恐れ入りますが、下記の通り救命訓練・防火訓練. を行いますので多数ご参加下さいますよう宜しくお願いいたします。

救命訓練の中では、止まった心臓に、電気ショックを与えて蘇生させる「AED」と云う機械の使い方も学びます。

各自治会長・自治会役員さんはじめ、日頃公民館を使用されている各種団体・クラブの方々は特に参加をお願いします。

### 記

実施日 : 平成 20 年 2 月 23 日 (土)

時 間 : 午前 10 時～午前 11 時 30 分まで

場 所 : 石見公民館【大広間】・石見児童公園